

cino

ITL-7600/780 , ITL-4300/460

ユーザーズガイド



2010 年度 T1.71 版

株式会社アイテックス

目次

第一章 はじめに	
Fuzzy Scan について	1
接続 / 脱着ケーブル	
インターフェースコネクタの接続方法	2
プログラミングマニュアルについて	3
製品の開梱について	
ステータスインジケータの表示状態について	
免責事項	
セットアップマニュアル改訂履歴	4
第二章 クイックセットアップコマンド	
インターフェース	5
PS/2 (DOS/V) Keyboard standard Wedge	
Keyboard Replacement	
PS/2 (DOS/V) KBW turbo	
RS232 Serial	
USB HID	
USB HID turbo	
USB COM	
オペレーションモード	6
Trigger Mode	
Lower Power Mode	
Force Mode	
Alternative Mode	
Toggle Mode	
Flash Mode	7
Level Mode	
第三章 ホストインターフェース	
ホストインターフェース	8
キーボードインターフェースコントロール	
キーボードレイアウト	9
Caps Lock	10
Caps Lock Release	
Record Suffix (レコードサフィックス)	
Preamble (プリアンブル)	
Postamble (ポストアンブル)	
Inter Message Delay (インターメッセージディレイ)	11
Inter Character Delay (インターキャラクタディレイ)	

Inter Function Delay (インターファンクションディレイ)	
Function Key Emulation (ファンクションキーエミュレーション)	
Key Pad Emulation (キーパッドエミュレーション)	
Upper/Lower (アップパー/ロウアー)	
シリアルインターフェースコントロール	
STX/ETX control	12
Record Suffix (レコードサフィックス)	
Preamble (プリアンブル)	
Postamble (ポストアンブル)	
Inter Message Delay (インターメッセージディレイ)	13
Inter Function Delay (インターファンクションディレイ)	
Hand Shaking Protocol (ハンドシェイクプロトコル)	
Baud Rate (ボーレート)	14
Data Frame (データフレーム)	
Time Out Control (タイムアウトコントロール)	
ワンドエミュレーション	
OutPut Polarity	15
Initial Signal	
Margin Time(マージンタイム)	
Modole Time	
Narrow/Wide Patio	
Code39Emulation	
第四章 オプションコントロール	
Buzzer (ブザー)	16
Power on Indicator (パワーオンインジケーター)	
Flash Duty Cycle (フラッシュデュティサイクル)	
Redundancy (リダンダンシー)	
Inverse Reading (インヴァースリーディング)	17
Reread Delay (リリードディレイ)	
Good Read Delay (グッドリードディレイ)	
Auto Power off (オートパワーオフ)	
Symbology ID Transmission	18
(シンボル ID トランスミッション)	
Data Length Transmission (データレンジトランスミッション)	
Hands Free Time-out (ハンズフリータイムアウト)	
Time Delay Low Power Mode (タイムディレイローパワーモード)	

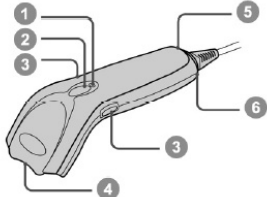
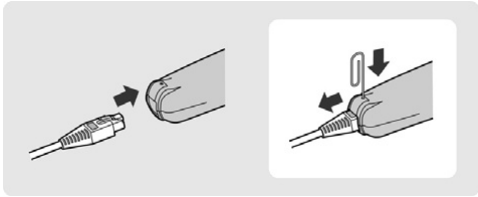
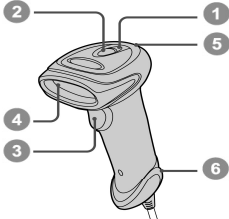
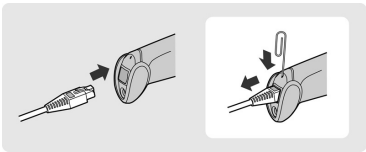
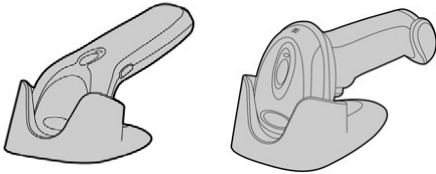

第五章 シンボルコード ID	
シンボルコード ID 設定	19
読み取りシンボル	20
第六章 シンボル	
Code 39	21
Code 39 フォーマット	
Code 32 フォーマット	
スタート/ストップキャラクタ転送	
Code 32 の「A」転送設定	
モジュラス 43 計算	
チェックデジット計算・転送	
Code39 読み取り桁数	
Codabar	22
Codabar フォーマット	
スタート/ストップキャラクタ転送	
チェックデジット計算・転送	
Codabar 読み取り桁数	
UPC	23
UPC-E を UPC-A に変換	
UPC を EAN に変換	
UPC システムナンバー転送	
UPC-A チェックデジットの計算・転送	
先頭桁が “ 1 ” の場合は UPC と識別	
UPC アドオン設定	
UPC アドオン先頭桁にスペースを追加	
EAN/JAN	24
EAN-8 を EAN 13 に変換	
チェックデジットの計算・転送	
ISBN/ISSN に変換	
EAN アドオン設定	
EAN/JAN アドオン先頭桁にスペースを追加する	
IATA	24
15 桁の IATA を検査	
可変長の IATA を読む	
チェックデジットを計算・転送	
CPN と S/N を検査	
スタート/ストップキャラクタ転送	

Code25	25
Standard / industrial 2 of 5 読み取り設定	
Matrix 2of 5 読み取り設定	
China Postal Code 読み取り設定	
Interleaved 2of 5 読み取り設定	
IATA 読み取り設定	
チェックデジット計算・転送	
読み取り桁数設定	
Code11	26
チェックデジット計算・転送	
読み取り桁数設定	
Code93	
チェックデジット転送	
読み取り桁数設定	
MSI/Plessey	27
モジュラス計算	
チェックデジット転送	
読み取り桁数設定	
Code 128/EAN-128	
ファンクションコード変換	
ISBT 連結	
読み取り桁数	
UK/Plessey	28
UK/Plessey フォーマット	
A-F を X に変換	
チェックデジットを転送	
読み取り桁数	
Telepen	
Telepen 読み取り設定	
Telepen フォーマット	
チェックデジットを転送	
読み取り桁数	
GS1 DataBar	29
GS1 DataBar (RSS-14) 読み取り設定	
読み取り桁数設定	
第七章 データウィザード	
Data Formatter Setting (キャラクタ付加機能)	30
Data Verifier Setting (フィルタリング機能)	31
Data Replacer Setting (キャラクタ置換機能)	32
Data Organizer Setting (データ構成機能)	33



データウィザードについて	34, 35
第八章 付録	
キーボードファンクションテーブル	36
HEX/ASCII キャラクタテーブル	37
バーコードコマンドメニュー	38
システムコマンド	39
サンプルシンボル	40, 41

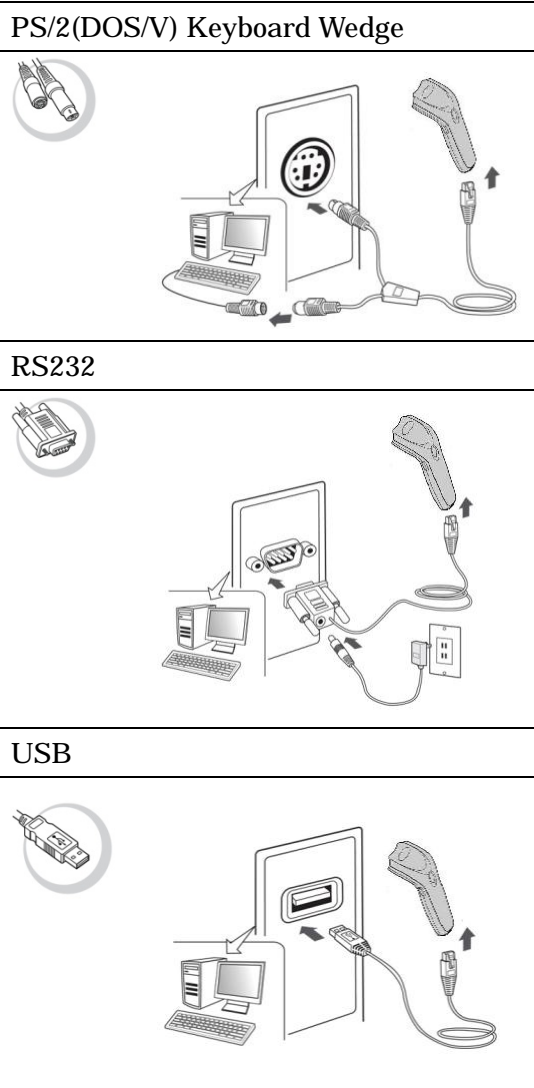
第一章 はじめに

<h3>FuzzyScan について</h3>	<h3>接続 / 脱着ケーブル</h3>
<p>この度は FuzzyScan イメージャーをお選びいただきまして誠にありがとうございます。 FuzzyScan イメージャーは広範囲のアプリケーションマーケットに作業性・生産性の向上を目的に製造されました。 このプログラミングマニュアルはバーコードイメージャーの各種設定を変更する際に使用します。</p>	<p>FuzzyScan イメージャーのインターフェースは PS/2 (DOS/V) キーボードウェッジ、RS232C、USB から選択可能です。 ・インターフェースケーブルの取り外し方法 ペーパークリップの端を伸ばしケーブルリリースホールに差し込み押し込んでください。 次に押し込んだままケーブルを引き抜いて下さい。</p>
<p>F430</p>  <ol style="list-style-type: none"> 1. パワーインジケータ 2. ステータスインジケータ 3. トリガー 4. スキャンウィンドウ 5. ビーム 6. ケーブルリリースホール 	<p>F430</p> 
<p>F760</p> 	<p>F760</p> 
<p>F430・F680・F760 共通ユニバーサルホルダ</p>	<p>F760・F680 共通ユニバーサルスタンド</p>
	
<p>操作方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネックのダイヤルを緩めると上下に動かすことができます。 <p>スキャンスタンドモード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタンドにセットするだけでスキャンスタンドモードにトリガーマードを切り替えます。 <p style="text-align: right;">(F 6 8 0 のみ有効)</p>	

インターフェースコネクタの接続方法

FuzzyScan イマ-ジ-ャ-のインターフェースは USB、RS232C、PS/2(DOS/V) キーボードウェッジを選択できます。

下記のインターフェースコネクタの接続方法をご参照の上、選択したインターフェースと同様に接続してください。



プログラミングマニュアルについて

FuzzyScan バーコードコマンドはイメージャー内部のプログラミングパラメータを変更するために設計された専用のバーコードコマンドです。

各 FuzzyScan バーコードイメージャーは、工場出荷時に海外市場における一般的な端末及び通信装置用に設定されています。

日本市場向けにご利用される際は、設定変更が必要であり、本書に記載のプログラミングコマンドを読み取りプログラミングパラメータの設定変更を行ってください。

記号 () 付いているオプションは、工場出荷時の設定になっております。

製品の開梱について

梱包箱を開けた際は、下記の確認を行ってください。

- ・製品及びケーブル等の損傷がないか確認します。
損傷があった場合は、すぐに配達運送会社及び販売店にご連絡ください。
- ・箱の中身に間違いがないか確認します。
- ・修理時の返却もしくは返送が必要な場合に、梱包箱が必要になる場合がございますので大切に保管してください。

ステータスインジケータの表示状態について

- ・無灯火・・・読み取り待機状態
- ・赤色 LED 点灯・・・プログラミング中

(設定変更項目を読み取らせると一度 “ Green ・ Orange ” に点灯しますが、故障ではありません。)

設定手順通り行ってもプログラミングモードが終了しない場合は、“ END ” を読み一度プログラミングモードを終了させて下さい。

免責事項

- ・ PC Worth (以下 PCW) は、本書に記載された使用およびその他の情報は事前に予告なく変更することがあります。
- ・本書の技術的仕様や編集上の誤り等で結果発生した損害については、PCW は一切の責任を負いません。
- ・本書には著作権で保護された情報が含まれ、著作権法の対象になります。
- ・本書は PCW の事前承諾を得ずに複製・変更、又は他の言語への翻訳はできません。
株式会社アイエムプロジェクトは、PCW に文書・ロゴの使用を許可された日本唯一のディストリビューターです。

セットアップマニュアル改訂履歴








日付	REV	改定内容
2009年4月	1.5	
2009年7月	1.6	<ul style="list-style-type: none"> ・セットアップマニュアル改訂履歴を追加 ・免責事項を追加 ・datawizard 機能の詳細説明を追加
2009年8月	T1.71	<ul style="list-style-type: none"> ・PCWorth ユーザーズガイド改訂に伴い、F430・F760 共通ユーザーズガイド作成。 (本ユーザーズガイドは F/W REV : 2.10.14 以降が適用になります。)

第二章 クイックセットアップコマンド

クイックセットアップコマンドはホストインターフェース・オペレーションモードを容易に設定できるコマンドです。

クイックセットアップコマンドは PRGRAM から設定する必要はありません。

該当するコマンドを読み取って頂くことで設定変更が可能です。

ホストインターフェース	
PS/2 (DOS/V) KBW Standard Mode	PS/2 (DOS/V) KBW Turbo Mode
	
Keyboard Replacement	RS232 Serial
	
◆USB HID Standard Mode	USB HID Turbo Mode
	
USB Com Port Emulation	
	

オペレーションモード

Trigger Mode



TriggerMode はトリガーを握ると発光します。
 バーコードをデコードするとスキャナーは待機状態になります。

Lower Power Mode



Lower Power Mode はトリガーを握ると発光します。
 バーコードをデコードするとスキャナーは休止状態になります。
 この設定はをすることで省電力設定としてご利用いただけます。

Force Mode



Force Mode は継続的に自動的に発光してデコードするモードです。
 バーコードを高速でデコードする環境にはこのモードをご利用ください。

Alternative Mode





Alternative Mode はトリガーを握ると発光して連続デコード後一定時間が経過すると消灯するモードです。

Toggle Mode

(Repeat Reading)



Toggle Mode はトリガーを握ると発光して連続してデコードを行い、再度トリガーを握ると消灯するモードです。

オペレーションモード	
Flash Mode	(Pulse Driven Reading)
	
<p>Flash Mode は自動点滅してデコードするモードです。 点滅のタイミング時間は設定により変更することが出来ます。</p>	
Level Mode	(Auto Power Off)
	
<p>Level Mode はトリガーを握ると発光して一定時間経過後に消灯するモードです。 消灯時間は設定により変更することが出来ます。</p>	


第三章 ホストインターフェース

下記パラメータよりお使いのコンピュータのオプションコードを確認してください。
 ” PROGRAM ” ・ ” Host Interface selection ” を順に読み取り巻末のオプションコードより
 数字バーコードを読み取り、最後に ” E N D ” を読み取り、ホストインタフェースに合
 わせて設定します。

初期値=General Notebook PC keyboard wedge interface (with external keyboard)



PROGRAM

Host Interface selection 	Standard/TTL RS-232 peer-to-peer serial	06
	Wand emulation	08
	PS/2 (DOS/V) direct link (keyboard replacement)	10
	PS/2 (DOS/V) keyboard wedge turbo mode	13
	PS/2 (DOS/V) keyboard wedge standard mode	14
	Laser emulation	17
	USB HID standard mode	18
	USB HID turbo mode	19

キーボードインターフェースコントロール


下記パラメータよりお使いのコンピュータのキーボードレイアウトを確認して下さい。
各種設定項目を読み取り、巻末のオプションコードより数字バーコードを読み取り、最後に(" FIN ") ・ " END " を読み取り、キーボードレイアウトに合わせて設定します。

初期値= USA (QWERTY)



PROGRAM

◆キーボードレイアウト◆

Keyboard Layout		
	USA (QWERTY)	00
	France (AZERTY)	01
	Germany (QWERTZ)	02
	United Kingdom - UK (QWERTY)	03
	Canadian French (QWERTY)	04
	Spain (QWERTY)	05
	Sweden/Finland (QWERTY)	06
	Portugal (QWERTY)	07
	Norway (QWERTY)	08
	Latin America (QWERTY)	09
	Italy (QWERTY)	10
	Netherlands (QWERTY)	11
	Denmark (QWERTY)	12
	Belgium (AZERTY)	13
	Switzerland-Germany (QWERTY)	14
	Iceland (QWERTY)	15
Japan (DOS/V)	16	
Universal * (see note)	99	



PROGRAM



Caps Lock	Caps Lock Off	0
	"Caps Lock On	1
	"Auto (PC/AT, PS/2, Keyboard Replacement and DOS/V Machines only)	2
Caps Lock Release	Caps Lock On, Caps Off	0
	Caps Lock On, Shift Off	1
Record Suffix	None	0
	RETURN	1
	TAB	2
	SPACE	3
	ENTER (テンキー)	4
	ユーザー指定のキャラクタ (1キャラクタ)	5, (00-7F))
Preamble	設定しない	[FIN]
	設定する(1~15キャラクタ)	[00-7f] ,
Postamble	設定しない	[FIN]
	設定する(1~15キャラクタ)	[00-7f] ,

送信フォーマット設定項目参照

STX	Preamble	桁数	プリフィックス シンボル ID	データ	サフィックス シンボル ID	Postamble	ETX	レコード サフィックス
-----	----------	----	--------------------	-----	-------------------	-----------	-----	----------------



PROGRAM

Inter message Delay 	設定しない	FIN
	設定する(1~99msec)	2桁
Inter character Delay 	設定しない	FIN
	設定する(1~99msec)	2桁
Inter function Delay 	設定しない	FIN
	設定する(1~99msec)	2桁
function Key Emulation 	ASCII 00-31 Keyboard function code	0
	Ctrl-Output	1
Key Pad Emulation 	key pad emulation off	0
	numeric output as key pad (Num Lock On) output on	1
Upper/Lower 	Normal case (neglect the upper/lower case control)	0
	Inverse case (change al characters output to nverse case)	1
	Upper case (force all characters output as upper case)	2
	Lower case (force all characters output as lower case)	3

シリアルインターフェースコントロール

下記パラメータよりお使いのコンピュータのシリアルコントロールを確認して下さい。
各種設定項目を読み取り、巻末のオプションコードより数字バーコードを読み取り、最後に " FIN "・" END " を読み取り、シリアルコントロールに合わせて設定します。



PROGRAM




STX/ETX Control 	STX/ETX を転送しない	0
	STX/ETX を転送する	1
Record Suffix 	None	0
	CR (0DH)	1
	LF (0AH)	2
	CRLF (0D0AH)	3
	TAB (09H)	4
	SPACE (20H)	5
	ユーザー指定のキャラクタ (1キャラクタ)	6, (00-7F)
Preamble 	設定しない	FIN
	設定する(1~15キャラクタ)	[00-7f]
Postamble 	設定しない	FIN
	設定する(1~15キャラクタ)	[00-7f]

送信フォーマット設定項目参照

STX	Preamble	桁数	プリフィックス シンボル ID	データ	サフィックス シンボル ID	Postamble	ETX	レコード サフィックス
-----	----------	----	--------------------	-----	-------------------	-----------	-----	----------------







PROGRAM

Inter message Delay 	設定しない	FIN
	設定する(1~99msec)	2桁
Inter character Delay 	設定しない	FIN
	設定する(1~99msec)	2桁
Inter function Delay 	設定しない	FIN
	設定する(1~99msec)	2桁



PROGRAM

Handshaking Protocol 	None (free running mode)		0	
	RTS/CTS (hardware handshaking)		1	
	ACK/NAK (software handshaking)		2	
	Xon/Xoff (software handshaking)		3	
Baud Rate (BPS) 	38.400 BPS	2400 BPS	0	4
	19.200 BPS	1200 BPS	1	5
	9600 BPS	600 BPS	2	6
	4800 BPS	300 BPS	3	7
Data Frame 	8, None, 1	7, Space, 1	0	8
	8, Odd, 1	7, Mark, 1	1	9
	8, Even, 1	7, None, 2	2	A
	8, Space, 1	7, Odd, 2	3	B
	8, Mark, 1	7, Even, 2	4	C
	8, None, 2	7, Space, 2	5	D
	7, Odd, 1	7, Mark, 2	6	E
	7, Even, 1		7	
Time Out Control 	None	1 (sec)	0	3
	200 (msec)	2 (sec)	1	4
	500 (msec)	5 (sec)	2	5
		User defined value (seconds)		6 (2 桁)

ワンドエミュレーション

下記パラメータよりお使いのコンピュータのワンドエミュレーションを確認して下さい。

各種設定項目を読み取り、巻末のオプションコードより数字バーコードを読み取り、最後に " FIN "・" E N D " を読み取り、ワンドエミュレーションに合わせて設定します。



PROGRAM

Output Polarity 	High level (5Vdc) Bar (low level on Space)	0		
	Low level (0Vdc) Bar (high level on Space)	1		
Initial Signal 	High Level (5Vdc)	0		
	Low Level (0Vdc)	1		
Margin Time 	10 (msec)	30 (msec)	0	4
	15 (msec)	50 (msec)	1	5
	20 (msec)	100 (msec)	2	6
	25 (msec)		3	
Module Time 	Ex short	Long	0	3
	Short		1	
	Medium		2	
Narrow/Wide Ratio 	1:2	0		
	1:2.5	1		
	1:3	2		
Code 39 Emulation 	Disable standard Code 39 emulation	0		
	Enable standard Code 39 skip emulation	1		
	Enable standard Code 39 replace emulation	2		

第四章 オプションコントロール

下記パラメータよりオプションコントロールを設定できます
 各種設定項目を読み取り、巻末のオプションコードより数字バーコードを読み取り、最後に "FIN"・"END" を読み取り、オプションコントロールに合わせて設定します。



PROGRAM

Buzzer : 起動音の設定・読み取り音の音程の調整ができます。		
Buzzer 	Mute	0
	Low	1
	medium	2
	High	3
	ex high	4
	Power-on beep On	7
	Power-on beep Off	8
Power On Indicator : パワーインジケータの LED 表示の設定が変更できます。		
Power On Indicator 	Power on, LED Off	0
	Power LED steady On	1
	Power LED flash	2
Flash Duty Cycle : Flash mode の点滅の間隔を調整できます。		
Flash Duty Cycle 	1/2 duty cycle	0
	2/3 duty cycle	1
	3/4 duty cycle	2
	4/5 duty cycle	3
Redundancy : 読み取り一致回数設定を変更できます。		
Redundancy (Scan Voting) 	None	0
	Level 1	1
	Level 2	2
	Level 3	3
	Level 4	4
	Level 5	5



PROGRAM

Inverse Reading : 白黒反転バーコードの読み取り設定を変更できます。				
Inverse Reading 	Disable			0
	Enable			1
Reread Delay : 同一バーコードを読み込むまでの間隔を設定変更できます。				
Reread Delay 	Disable	Medium time out	0	3
	Immediate time out	Long time out	1	4
	Short time out	Force verification	2	5
Good Read Delay : 別のバーコードを読み込むまでの間隔を設定変更できます。				
Good Read Delay 	None	1.5sec	0	4
	200 msec.	2sec	1	5
	500 msec.	3sec	2	6
	1 sec.		3	
Auto Power Off Duration : Level mode の消灯間隔を設定変更できます。				
Auto Power Off Duration 	Short			0
	Medium			1
	Long			2
	Extremely long			3



PROGRAM

Symbology ID Transmission : シンボル ID の転送を設定できます。		
Symbology ID Transmission	シンボル ID を転送しない	0
	プリフィックスに CINO 標準のシンボル ID を転送する	1
	サフィックスに CINO 標準のシンボル ID を転送する	2
	プリフィックス・サフィックスに CINO 標準のシンボル ID を転送する	3
Data Length Transmission : エンコードデータの桁数転送を設定できます。		
Data Length Transmission	Disable	0
	桁数を転送する(エンコードデータが 10 桁以内の際は“ 0n ”で転送されます。) エンコードデータが 99 桁の場合、3 桁で転送されます。	1
		
Hands Free Time-out : マニュアルトリガーモードの状態を維持する時間を設定変更できます。 (ハンズフリーモード使用時のみ)		
Hands Free Time-out	Short	0
	Medium	1
	Long	2
	Extremely long	3
		
Good Read Duration : 読み取り音の長さを調整できます。		
Good Read Duration	Short	0
	Medium	1
	Long	2
	Extremely long	3
		

第五章 シンボルコード I D

ユーザー指定のコード I D に関する設定します。

” PROGRAM ”・ ” Symbol ID : character “ を順に読み取り、巻末のオプションコードより変更したいコードの数字バーコードを読み取ります。

ユーザー指定のコード I D オプションコード選択して、最後に ” FIN ”・ ” E N D ” を読み取ります。

(変更したいキャラクタは巻末の HEX/ASCII キャラクタ-ブルをご参照ください。)

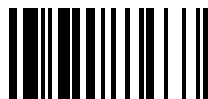
例：JAN-13 のシンボル ID を “ Z ” に変更したい場合は、

“ PROGRAM ” ” Symbol ID : character “ ” 0 “ ” 3 “ ” 5 “ ” A “

“ FIN ” “ END ” と設定をします。



PROGRAM

Symbol ID character 	Code 128 (B)	00
	UCC/EAN-128 (C)	01
	UPC-A (A)	02
	EAN/JAN-13 (F)	03
	Codabar/NW-7 (D)	04
	Code 39/Code 32 (G)	05
	Code 93 (H)	06
	Standard/Industrial 2 of 5 (I)	07
	Interleaved 2 of 5 (J)	08
	Matrix 2 of 5 (K)	09
	China Postal Code (L)	10
	German Postal Code (M)	11
	IATA (O)	12
	Code 11 (P)	13
	MSI/Plessey (R)	14
	UK/Plessey (S)	15
	Telepen (T)	16
	GS1 DataBar (X)	17
	UPC-E (E)	18
EAN/JAN-8 (N)	19	

読み取りシンボル

この設定で読み取るシンボル体系を制限することが出来ます。
 (ご使用のアプリケーションで特定のシンボル体系を読み取る際に有効な設定です。)

設定方法

PROGRAM シンボル 許可シンボルオプションコード FIN END

例：JAN・UPC-A と複数のシンボルを指定したい場合は、オプションコード登録の際に
 “ 0402 ” と連続で読み取らせて下さい。



PROGRAM

シンボル 	各コードを自動的に認識する	00
	Code 128 , UCC/EAN-128	01
	UPC-A	02
	UPC-E	03
	EAN/JAN-13	04
	EAN/JAN-8	05
	Codabar/NW-7	06
	Code 39/Code32 , HIBC	07
	Code25 Family , IATA	08
	Code 93	09
	Code 11	10
	MSI/Plessey	11
	UK/Plessey	12
	Telepen	13
GS1 Databar (RSS-14)	14	

第六章 シンボル

ユーザー指定のシンボルに関する設定します。
 各種設定変更したい項目を読み取り、巻末のオプションコードより変更したいコードの数字バーコードを読み取り、最後に " E N D " を読み取ります。



PROGRAM

Code 39 	Code 39 スタンダードプライマリフォーマット	0
	Full ASCII Code 39 プライマリフォーマット	1
	Code 32 プライマリフォーマット	2
	スタートストップキャラクタを転送しない	3
	スタートストップキャラクタを転送する	4
	Code 32 「A」を転送しない	5
	Code 32 「A」を転送する	6
	モジュラス 43 で計算しない	7
	モジュラス 43 で計算する	8
	チェックデジットを転送しない(終端文字を転送しない)	9
	チェックデジットを転送する(終端文字を転送する)	A
Code 39 最小桁数 	初期値 (04)	2 桁
	最小設定桁数(01)	
	巻末のオプションコードから Code 39 最小桁数 2 桁を選択してください	
Code 39 最大桁数 	初期値(98)	2 桁
	最大設定桁数(98)	
	巻末のオプションコードから Code 39 最大桁数 2 桁を選択してください。	



PROGRAM

<p>Codabar</p> 	Codabar スタンダードフォーマット	0
	Codabar ABC フォーマット	1
	Codabar CLSI フォーマット	2
	Codabar CX フォーマット	3
	スタートストップキャラクタを転送しない	4
	スタートストップキャラクタを ABCD/ABCD で転送する	5
	スタートストップキャラクタを abcd/abcd で転送する	6
	スタートストップキャラクタを ABCD/TN*E で転送する	7
	スタートストップキャラクタを abcd/tn*e で転送する	8
	チェックデジットを計算しない	9
	チェックデジットを計算する	A
	チェックデジットを転送しない (終端文字を転送しない)	B
	チェックデジットを転送する (終端文字を転送する)	C
<p>Codabar 最小桁数</p> 	初期値 (04)	2 桁
	設定最小桁数(01)	
	巻末のオプションコードから Codabar 最小桁数 2 桁を選択してください。	
<p>Codabar 最大桁数</p> 	初期値 (98)	2 桁
	設定最大桁数(98)	
	巻末のオプションコードから Codabar 最大桁数 2 桁を選択してください。	



PROGRAM

<p>UPC</p> 	UPC-E を UPC-A に変換しない	0
	UPC-E を UPC-A に変換する	1
	UPC を EAN に変換しない	2
	UPC を EAN に変換する	3
	UPC システムナンバーを転送しない	4
	UPC-システムナンバーを転送する	5
	UPC-A チェックデジットを転送しない	6
	UPC-A チェックデジットを転送する	7
	UPC-E チェックデジットを転送しない	8
	UPC-E チェックデジットを転送しない	9
	先頭桁が “ 1 ” の場合は UPC と識別しない	A
	先頭桁が “ 1 ” の場合は UPC と識別する	B
	<p>UPC 追加設定</p> 	UPC アドオンなし
UPC アドオン 2 桁を読む		1
UPC アドオン 5 桁を読む		2
UPC アドオン 2 / 5 桁を読む		3
UPC アドオンが追加されているコードを読まない		4
UPC アドオンが追加されているコードを読む		5
UPC アドオン先頭桁にスペースを追加しない		6
UPC アドオン先頭桁にスペースを追加する		7



PROGRAM

EAN/CAN/JAN 	EAN-8 を EAN-13 に変換しない	0
	EAN-8 を EAN-13 に変換する	1
	EAN-13 チェックデジットを転送しない	2
	EAN-13 チェックデジットを転送する	3
	EAN-8 チェックデジットを転送しない	4
	EAN-8 チェックデジットを転送する	5
	ISBN/ISSN に変換しない	6
	ISBN/ISSN に変換する	7
EAN/CAN/JAN 追加設定 	EAN アドオンなし	0
	EAN アドオン 2 桁を読む	1
	EAN アドオン 5 桁を読む	2
	EAN アドオン 2 / 5 を読む	3
	EAN アドオンが追加されているコードを読まない	4
	EAN アドオンが追加されているコードを読む	5
	EAN/JAN アドオン先頭桁にスペースを追加しない	6
	EAN/JAN アドオン先頭桁にスペースを追加する	7
IATA 	15 桁の IATA を検査する	0
	可変長の IATA を読む	1
	チェックデジットを検査しない	2
	チェックデジットを検査する	3
	S/N のみを検査する	4
	CAN のみを検査する	5
	S/N ・ CAN を検査する	6
	チェックデジットを転送しない	7
	チェックデジットを転送する	8
	スタートストップキャラクタを転送しない	9
	スタートストップキャラクタを転送する	A



PROGRAM

<p>Code 25</p> 	全ての Code25 を選択する	0
	Standard/industrial 2 of 5 のみ選択する	1
	Matrix 2 of 5 のみ選択する	2
	Interleaved 2 of 5 のみ選択する	3
	Interleaved 2 of 5 , S Code のみ選択する	4
	IATA のみ選択する	5
	China Postal Code のみ選択する	6
	チェックデジットを検査しない	7
	チェックデジットを検査する	8
	チェックデジットを転送しない(終端文字を転送しない)	9
	チェックデジットを転送する(終端文字を転送する)	A
<p>Code 25 最小桁数</p> 	初期値 (06)	FIN
	設定最小桁数(01) 巻末のオプションコードから最小桁数 2 桁を選択してください。	2 桁
<p>Code 25 最大桁数</p> 	初期値 (98)	FIN
	設定最大桁数(98) 巻末のオプションコードから最小桁数 2 桁を選択してください。	2 桁
<p>German Postal Code</p> 	読まない	0
	読む	1



PROGRAM

<p>Code 11</p> 	チェックデジットを計算しない	0
	1桁目のチェックデジットを計算する	1
	2桁目のチェックデジットを計算する	2
	チェックデジットを転送しない	3
	チェックデジットを転送する	4
<p>Code 11 最小桁数</p> 	初期値 (04)	FIN
	設定最小桁数(01)	2桁
	巻末のオプションコードから最小桁数2桁を選択してください。	
<p>Code 11 最大桁数</p> 	初期値(98)	FIN
	設定最大桁数(98)	2桁
	巻末のオプションコードから最大桁数2桁を選択してください。	
<p>Code 93</p> 	チェックデジットを転送しない	0
	チェックデジットを転送する	1
<p>Code 93 最小桁数</p> 	初期値 (03)	FIN
	設定最小桁数(01)	2桁
	巻末のオプションコードから最小桁数2桁を選択してください	
<p>Code 93 最大桁数</p> 	初期値 (98)	FIN
	設定最大桁数(98)	2桁
	巻末のオプションコードから最大桁数2桁を選択してください。	



PROGRAM

MSI/Plessey 	モジュラス 10 で計算する	0
	モジュラス 10-10 で計算する	1
	モジュラス 11-11 で計算する	2
	チェックデジットを転送しない	3
	チェックデジットを転送する	4
MSI/Plessey 最小桁数 	初期値 (04)	FIN
	設定最小桁数(01)	2 桁
	巻末のオプションコードから最小桁数 2 桁を選択してください	
MSI/Plessey 最大桁数 	初期値 (98)	FIN
	設定最大桁数(98)	2 桁
	巻末のオプションコードから最大桁数 2 桁を選択してください。	
Code 128/EAN-128 	ファンクションコードに変換しない	0
	ファンクションコードに変換する	1
	ISBT 連結しない	2
	ISBT 連結する	3
Code 128/EAN-128 最小桁数 	初期値 (04)	FIN
	設定最小桁数(01)	2 桁
	巻末のオプションコードから最小桁数 2 桁を選択してください	
Code 128/EAN-128 最大桁数 	初期値 (98)	FIN
	設定最大桁数(98)	2 桁
	巻末のオプションコードから最大桁数 2 桁を選択してください。	






PROGRAM

UK/Plessey 	UK/Plessey スタANDARDフォーマット	0
	UK/Plessey CLSI フォーマット	1
	A-F を X に変換しない	2
	A-F を X に変換する	3
	チェックデジットを転送しない	4
	チェックデジットを転送する	5
UK/Plessey 最小桁数 	初期値 (04)	FIN
	設定最小桁数(01)	2桁
	巻末のオプションコードから最小桁数 2桁を選択してください	
UK/Plessey 最大桁数 	初期値(98)	FIN
	設定最大桁数(98)	2桁
	巻末のオプションコードから最大桁数 2桁を選択してください。	
Telepen 	Telepen 数字モード	0
	Telepen Full ASCII モード	1
	チェックデジットを転送しない	2
	チェックデジットを転送する	3
Telepen 最小桁数 	初期値 (04)	FIN
	設定最小桁数(01)	2桁
	巻末のオプションコードから最小桁数 2桁を選択してください	
Telepen 最大桁数 	初期値 (98)	FIN
	設定最大桁数(98)	2桁
	巻末のオプションコードから最大桁数 2桁を選択してください。	



PROGRAM

GS1 DataBar 	GS1 DataBar (RSS-14) を読まない	0
	GS1 DataBar (RSS-14) を読む	1
	GS1 DataBar limited 読まない	2
	GS1 DataBar limited を読む	3
	GS1 DataBar expanded 読まない	4
	GS1 DataBar expanded を読む	5
GS1 DataBar 最小桁数 	初期値 (04)	FIN
	設定最小桁数(01)	2桁
	利用可能な Expanded GS1 Databar.のみ設定可能。 巻末のオプションコードから最小桁数 2桁を選択してください	
GS1 DataBar 最大桁数 	初期値 (74)	FIN
	設定最大桁数(74)	2桁
	利用可能な Expanded GS1 Databar.のみ設定可能。 巻末のオプションコードから最大桁数 2桁を選択してください。	

第7章 データウィザード

ユーザー指定のデータウィザードに関する設定します。
 各種設定変更したい項目を読み取り、巻末のオプションコードより変更したいコードの数字バーコードを読み取り、最後に "FIN"・"END" を読み取ります。



PROGRAM

◆Data Formatter Setting◆ (キャラクター付加機能)			
Formatter Control 	設定しない	FIN	
	特定のシンボル体系を指定して適用する	2桁	1~3桁,FIN
	すべてのシンボル体系に適用する シンボル体系のオプションコードは P35 を参照してください。	00	
SET1 	設定しない	FIN	
	設定する (2桁のポジションコード選択し、最大3桁の任意キャラクターを入力できます)	2桁	1~3桁,FIN
SET2 	設定しない	FIN	
	設定する (2桁のポジションコード選択し、最大3桁の任意キャラクターを入力できます)	2桁	1~3桁,FIN
SET3 	設定しない	FIN	
	設定する (2桁のポジションコード選択し、最大3桁の任意キャラクターを入力できます)	2桁	1~3桁,FIN
SET4 	設定しない	FIN	
	設定する (2桁のポジションコード選択し、最大3桁の任意キャラクターを入力できます)	2桁	1~3桁,FIN



PROGRAM

◆Data Verifier Setting◆ (フィルタリング機能)			
Verifier Control 	設定しない	FIN	
	特定のシンボル体系を指定して適用する	2桁	
	すべてのシンボル体系に適用する シンボル体系のオプションコードは P35 を参照してください。	00	
Data Length 	設定しない	FIN	
	設定する (フィルタリングする固定データ長を設定してください。)	2桁	
Character SET1 	設定しない	FIN	
	設定する (2桁のポジションコード選択し、チェックキャラクタを1桁設定して下さい。)	2桁	[00-7F]
Character SET2 	設定しない	FIN	
	設定する (2桁のポジションコード選択し、チェックキャラクタを1桁設定して下さい。)	2桁	[00-7F]
Character SET3 	設定しない	FIN	
	設定する	2桁	[00-7F]
	(2桁のポジションコード選択し、チェックキャラクタを1桁設定して下さい。)		



PROGRAM

◆Data Replacer Setting◆ (キャラクタ置換機能)			
Replacer Control 	設定しない	FIN	
	特定のシンボル体系を指定して適用する	2桁	
	すべてのシンボル体系に適用する シンボル体系のオプションコードは P35 を参照してください。	00	
Character SET 1 	設定しない	FIN	
	設定する (置換するポジションを選択し、任意のキャラクタを設定してください。)	2桁	[00-7F]
Character SET 2 	設定しない	FIN	
	設定する (置換するポジションを選択し、任意のキャラクタを設定してください。)	2桁	[00-7F]
Character SET 3 	設定しない	FIN	
	設定する (置換するポジションを選択し、任意のキャラクタを設定してください。)	2桁	[00-7F]



PROGRAM

◆Data Organizer Setting◆ (データ構成機能)			
Organizer Control 	設定しない	FIN	
	特定のシンボル体系を指定して適用する	2桁	
	すべてのシンボル体系に適用する シンボル体系のオプションコードは P35 を参照してください。	00	
1st Organization 	Disable	FIN	
	Enable (識別するポジションを選択し、正方向 / 逆方向を設定してください。)	2桁	0 (Forward) 1 (Backward)
2nd Organization 	Disable	FIN	
	Enable (識別するポジションを選択し、正方向 / 逆方向を設定してください。)	2桁	0 (Forward) 1 (Backward)
Include/Exclude Control 	指定されたポジションを送信データに含まない	0	
	指定されたポジションを送信データに含む	1	

データウィザードエディタについて

・シンボルコマンド

データウィザードで使用するシンボルコードは下記を参照してください。

” 00 “ を選択すると全てのシンボルを適用するに設定されます。

Code 128 : 01	Code 39 : 07	Code 93 : 09
UCC/EAN 128 : 31	Code 32 : 37	Code 11 : 10
UPC-A : 02	Matrix 2 of 5 : 38	MSI/Plessey : 11
UPC-E : 03	Interleaved 2 of 5 : 48	UK/Plessey : 12
EAN/ JAN -13 : 04	China Postal Code : 58	Telepen : 13
Codabar/NW-7 : 06	German Postal Code : 68	GS1 Data Bar : 14
	IATA : 78	

データウィザードの参考例

◆Data Formatter Setting◆（キャラクタ付加機能）

エンコードデータ内にユーザー指定のキャラクタを付加できます。

例：CODE39、「01234567890」の「45」の間に「A」を付加する。

・CODE39 を指定

```
PROGRAM      Formatter Control      「07」      FIN      END
```

・ポジションを指定して「45」の間に「A」キャラクタを付加

```
PROGRAM      SET1      「0541」      FIN      END
```

◆Data Verifier Setting◆（フィルタリング機能）

エンコードデータ内のキャラクタを一致チェックすることができます。

例：CODE39、「01234567890」の「4」を一致する。

・CODE39 を指定

```
PROGRAM      Verifier Control      「07」      FIN      END
```

・データ長指定（任意）

```
PROGRAM      Data Length      「11」      FIN      END
```

・ポジションを指定してフィルタリングをセット

```
PROGRAM      character set1      「0534」      FIN      END
```


◆Data Replacer Setting◆ (キャラクタ置換機能)

エンコードデータ内のキャラクタを置換できます。

例：CODE39、「01234567890」の「4」を「A」に置換する。

- ・ CODE39 を指定

```
PROGRAM      Replacer Control      「07」      FIN      END
```

- ・ ポジションを指定して置換キャラクタをセット

```
PROGRAM      character set1        「0541」    FIN      END
```

◆Data Organizer Setting◆ (データ構成機能)

エンコードデータの出力構成を指定することが出来ます。

例：CODE39、「01234567890」から「01234」を限定出力する。

- ・ CODE39 を指定

```
PROGRAM      Organizer Control      「07」      FIN      END
```

- ・ ポジションを指定して限定出力をセット

```
PROGRAM      1st Organization      「051」    FIN      END
```

第八章 付録

キーボードファンクションコードテーブル

No	ANSI	ASCII	Key Function	No	ANSI	ASCII	Key Function
00	NUL	00H	RESERVED	16	DLE	10H	F7
01	SOH	01H	CTRL(Left)	17	DC1	11H	F8
02	STX	02H	ALT (Left)	18	DC2	12H	F9
03	ETX	03H	SHIFT	19	DC3	13H	F10
04	EOT	04H	CAPS LOCK	20	DC4	14H	F11
05	ENQ	05H	NUM LOCK	21	NAK	15H	F12
06	ACK	06H	ESC	22	SYN	16H	INS(Insert)
07	BEL	07H	F1	23	ETB	17H	DEL(Delete)
08	BS	08H	Back Space	24	CAN	18H	HOME
09	HT	09H	TAB	25	EM	19H	END
10	LF	0AH	F2	26	SUB	1AH	PAGE UP
11	VT	0BH	F3	27	ESC	1BH	PEGE DOWN
12	FF	0CH	F4	28	FS	1CH	UP
13	CR	0DH	ENTER (CR)	29	GS	1DH	DOWN
14	SO	0EH	F5	30	RS	1EH	LEFT
15	SI	0FH	F6	31	US	1FH	RIGHT

HEX/ASCII キャラクタテーブル

	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SPACE	0	@	P	·	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[k	{
C	FF	FS	,	<	L	\	l	
D	CR	GS	~	=	M]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

バーコードコマンドメニュー



0



8



4



C



1



9



5



D



2



A



6



E



3



B



7



F



FIN



END

システムコマンド

出荷時設定に戻す
(Factory Default)



「出荷時設定に戻す」のバーコードを読み取ると設定しているすべてのパラメータが戻りますのでご注意ください。

System Information List

スキャナのバージョンを表示することができます。



Save User Default

ユーザー任意で行った設定をスキャナに記憶させることができます。



User Default

Save User Default で設定した内容を適用することができます。



User Default について

- ・ Save User Default に記憶させたパラメータは「出荷時設定に戻す」をスキャンしても初期値には戻りません。

サンプルシンボル

UPC-A



UPC-E



EAN-13



EAN-8



Code39



Codabar



Interleaved 2 of 5



Code93



Matrix 2 of 5



Code128



RSS-14



RSS Limited



RSS Expanded



cino